# Athrill 実行環境事前設定の説明

1. 2021.11.30 　現状の最適なセットアップ方法に変更　▲

## はじめに

本資料は、TOPPERS-SSP シュリンク版をATHRILL上で動作させるためのPCの環境設定の手

順を記載したものです。　ハンズオンセミナー実施の場合には事前準備する内容です。

と言ってもATHRILL特有ではなく、一般的な環境設定のものと考えています。

設定内容は、WSL2およびDockerForWindowsになります。

すでにセットアップ済みであれば特別設定の必要は無いと考えています。

Athrillの動作環境については、以下のサイトに説明があり本資料もこれをもとに作成しております。

TOPPERS/athrillをdockerで利用できるようにするまで

https://qiita.com/kanetugu2018/items/f1368a6da7bdc773cfd9

手順については、いろいろなマシンやWSLのバージョンなど多岐にわたると思いますが、今回は、Windows10Homeおよび▲Pro64bitの環境に縛って説明します。またWSL2を使うものとしています。

理由は、HyperVが使えるため、設定することが最も少なく、もっとも敷居が低いと判断したからです。逆にWindows以外や　Windows10Homeでどうしても設定したい方は、上記サイトに

記載されているのでそれを参照ください。

## この資料のゴール

WSL2とDockerがセットアップされている状態にすること。

具体的には以下のコマンドでathrillが実行できる環境にあること

PS>docker run -it kanetugu2015/athrill\_asp3:ver3.0

#cda

#athrill2 -c1 -i -m memory.txt -d device\_config.txt asp

## 前提条件

Windows10Homeまたは▲pro 64bit バージョン 2004、ビルド 19041 以上

仮想化支援機能「Intel VT／AMD-V」対応プロセッサ

4GBメモリ以上

バージョン 2004へのアップデート方法は以下などを参考に実施ください。

https://qiita.com/tomokei5634/items/27504849bb4353d8fef8

## 手順

## WSL2の設定

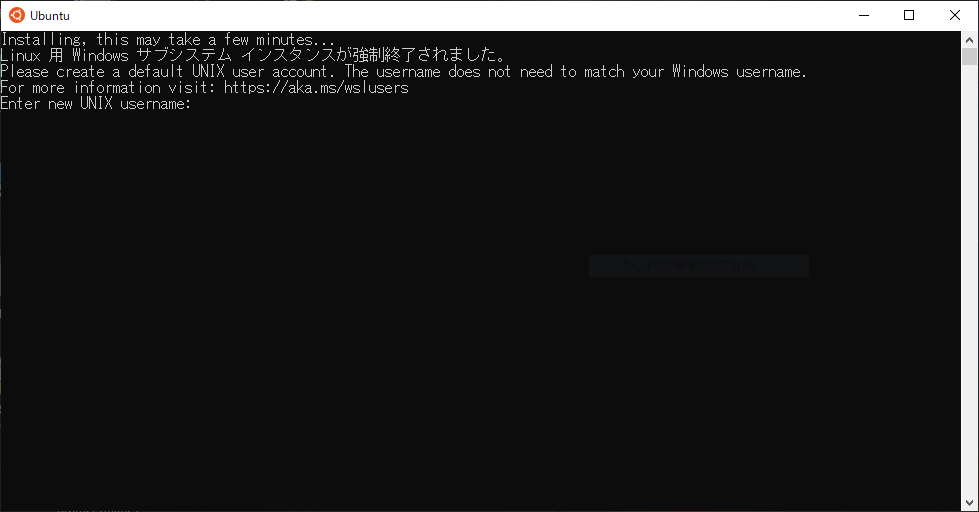
管理者権限ＰＯＷＥＲＳＨＥＬＬで以下のコマンドを実行します。

>wsl --install

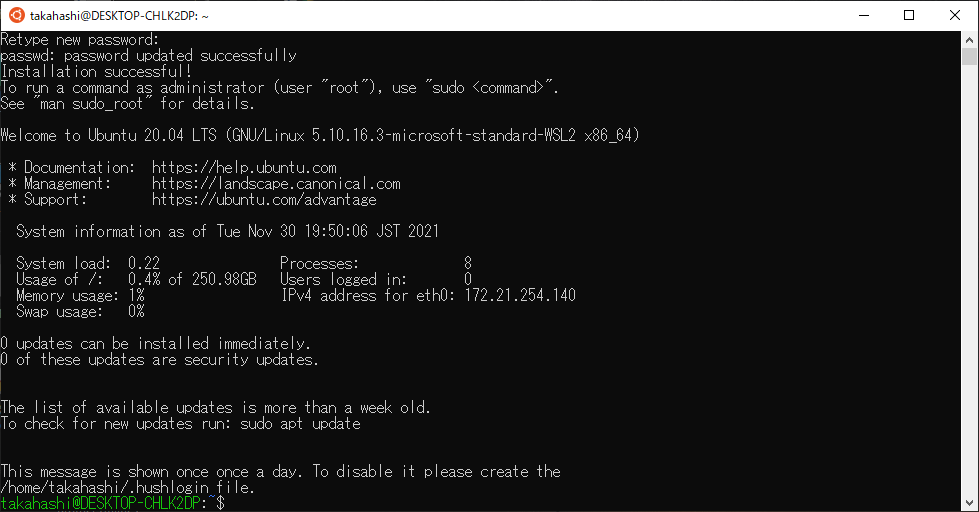
## 

ＰＣ再起動が促されるメッセージが表示されるので再起動します。

再起動したら、しばらくubuntuがインストール中になります。



黒いコマンドプロンプトの画面でUser名　と　パスワードを尋ねられるので、自分で決めたユーザー名とパスワードを入力します。終了すると以下になります。



Exitで一旦終了します。

再度、管理者モードのpowershellを起動します。

そこで以下の２つのコマンドを実行します。

>wsl -–set-version Ubuntu 2

>wsl –set-default-version 2





### Docker for Windowsをインストール

<https://www.docker.com/>

Desktop Installer.exe をダウンロードしてインストーラからインストール実行

インストール時にWSL2のチェックを入れてください。（デフォルトでチェックされているはずです。）

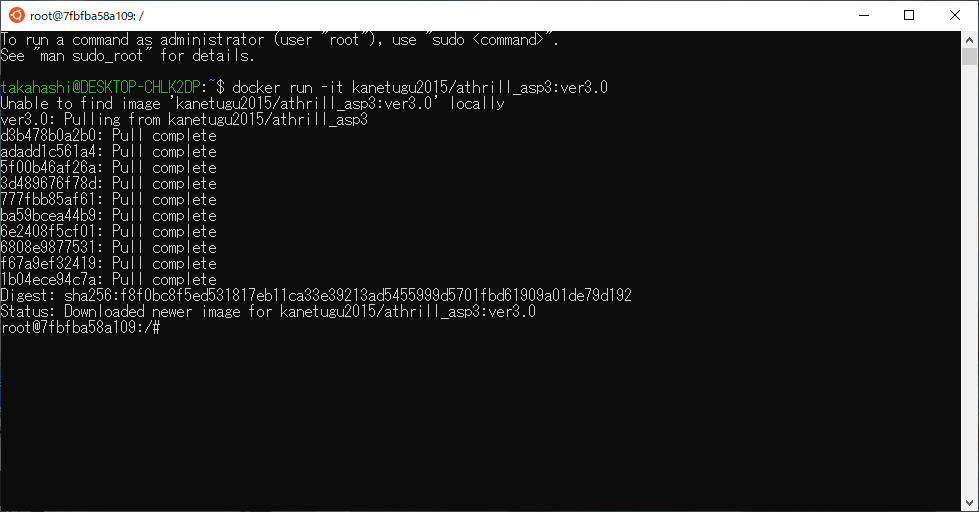
### Gitのセットアップ

Git for windows および　TortoiseGitをインストールします。

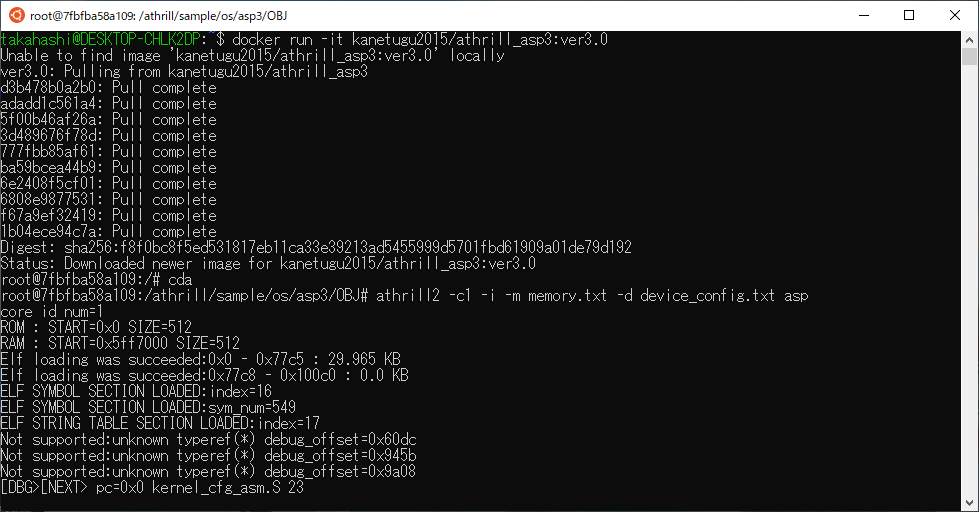
# インストールの確認

ubuntuをクリックしてターミナルを表示してから以下のコマンドを実行します。

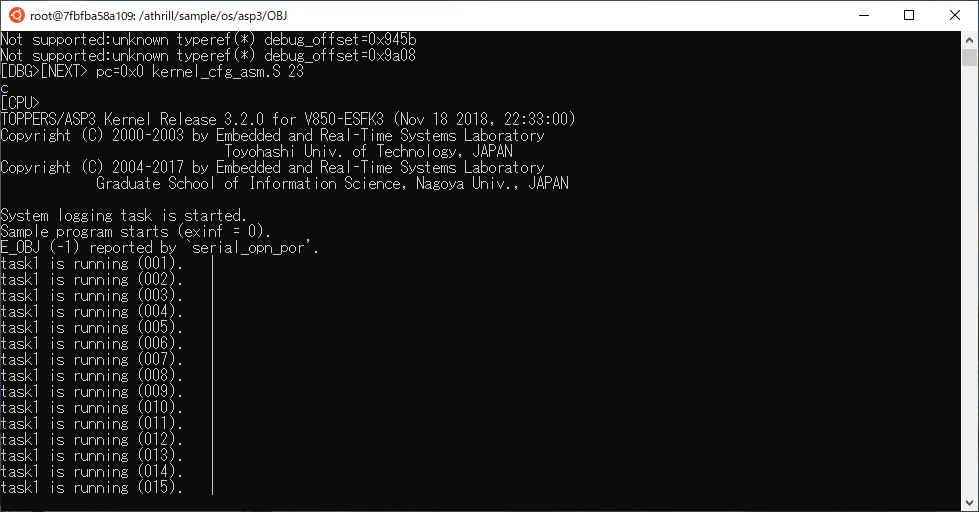
docker run -it kanetugu2015/athrill\_asp3:ver3.0



Dockerコンテナが起動した状態です。ここから　athrillとそのうえで動くTOPPERS/ASPを起動します。



C ENTERで動き出します。



停止はCTRL＋C　です。

以上